



No. 29

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou
Elementary School

HP:<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

平成29年7月14日

第1回学校評議員会を終えて

～ 新しく着任しました学校評議員の皆様です ～

過日、7月4日(火)に今年度第1回目となる学校評議員会を開催しました。新年度がスタートして3ヶ月が経過する中、本校の教育活動についての意見・要望、学校行事(運動会等)や子どもたちの様子について様々な視点からお話をいただきました。

今年度に学校評議員(皆さん1年目となります)をお願いする方々です。

敬称略

伊藤 誠 治 (大正市街地連合町内会長)
宮 浦 賢 二 (平成17年度第29代PTA会長)
中 野 真 喜 子 (学校支援地域本部事業サポーター図書ボランティア)
早 川 貢 (バレー少年団後援会長、28年度PTA会長)



以下は、会合で出された主な意見です。

- ロータリーの補修について本格的整備は必要である。
- スクールバスが、地域の路上や公園などに停車しているバスを見かける。安全上好ましくない。検討してほしい。
- 保小中の連携(七中エリアファミリー)の取組を今後もしっかりと進めてほしい。
- 子どもたちの安全確保については、関係諸機関が連携して進めていく必要がある。特に、通学路の歩道の除雪については、しっかりとした対策を講じていかなければならない。
- 学校施設の修繕については、子どもが安全に安心して学校生活を送ることができるように環境を整える必要がある。教育委員会には迅速な対応をお願いしたい。
- 通学路にも関わらず、路肩のないところがある。路肩を増設するか、歩道をつくるなど安全対策を進めてほしい。
- 運動会競技で危険な内容があれば検討してほしい。最近、何でも危ないと止める傾向があるが、何か事故や怪我が出ないように工夫してほしい。
- いじめ防止の対策やいじめへの対処をはじめ、多くの事案要望・苦情があろうかと思うが、過重な負担にならない範囲でなんとか理解が得られるように頑張してほしい。

アウトメディアデーの感想をお寄せください。

七中エリアファミリーの取組として昨年度『ノーテレビ・ノーゲームデー』、今年から範囲を広げまして、パソコンや携帯電話・スマートフォンなどによるインターネットやメールなどの通信機器による電子メディアの使用を抑制するアウトメディアの日＝アウトメディアデーとしました。

アウトメディアデーの取組のご案内とチラシを配付し、感想を募集しておりました。これまで9名の方々から感想をいただいています。昨年度までの取組をパワーアップする形で進めていますが、皆さんの負担にならないように取組内容の各段階を各ご家庭で選ばれて、息の長いものになるようにしたいと考えています。今回の感想は本日までに提出をお願いしていたところですが、お忘れの方は、来週の7月20日までにお寄せいただけますと大変助かります。お寄せいただいた感想等は7月中のいずれかの号で紹介していきます。よろしくお願いいたします。

学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。7月5日現在で71部の提出をいただきました。今後、結果の集計・分析・考察を行い、同じく7月中のいずれかの号で目に見える形で、お伝えしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

- 7月17日が、「北海道みんなの日」と制定されたことやその主旨、式典、ゆかりの深い道立施設の一部が入場無料になることも学校だより17号でお知らせしました。実施日が近づきましたので、帯広市における内容を再度お知らせします。
- ⇒⇒帯広美術館が7月17日については、常設展示の観覧料無料になります。

～ 地域の方々のお心遣い、ご協力に感謝いたします～



花壇づくり，花苗植でお世話になっている末次秀夫さん（写真左）、山口秀敏さん（写真右）のお二方にご都合よい日・時間帯ということで早朝6時頃にご来校いただき、花壇の環境を整えていただいています。これまでも花壇づくりをはじめ、日々の登下校を見守っていただいたりと、積極的に子ども

たちのために関わっていただき地域の学校としてご支援いただいております。

お二方には、時間をかけてきれいにしていただきました。お二方が帰られた後、花壇のみならず校舎前景がきれいになり、花壇の色合いが一段と鮮やかになりました。本校は、地域の学校として、地域の多くの方々に、様々な形で関わっていただいています。温かいご支援をいただいているということであらためて感じたところです。～ ありがとうございます。今後ともよろしく願ひいたします～

ゴミ分別・出前授業 ～4年生～

7月13日（木）帯広市役所・市民環境部清掃事業課の方々が本校にお越しいただきまして、本校4年生を対象に、「ゴミ分別に関する出前授業」をしていただきました。子どもたちは、清掃事業課の方々がご用意してくださいました様々なゴミ見本をそれに合う分別容器に適切に入れられるかどうかの基本的な学習から始めました。だいたいは、あっていましたが、意外とわからないゴミがあるものです。「う～ん、新聞と牛乳パックは同じゴミかな?」「これは、燃えるゴミにははまらないよう!」など、説明していただきながら、具体的な収集・分別の仕方を学びました。家庭でも関心をもつでしょうし、ゴミを見つめ、分別に役立てられると思いました。



児童会の取組のうち、「リングプル回収」「環境の木」を紹介します。

リングプル回収は、福祉施設への車椅子寄贈の目的で帯広市内小中学校合同で進められます。中には、「祖父母の方からいただいたリングプルです。」と、ドラム缶半分に及ぶほどを学校にご寄付いただいた保護者の方もいらっしゃいます。たいへんありがたいです。車椅子一つに変えるためにはだいたいドラム缶7～9杯くらいのリングプルが必要です。重さでいうと600kg～800kgが必要です。

また、「節電」「節水」「あいさつ」「整理整頓」に取り組む「環境の木」にもコツコツ取り組んでいます。（写真左は現児童会三役。写真左は「環境の木」。）

